

教育旅行におけるアレルギー対策の現状と課題

～学校生活でのアレルギー対策と修学旅行における受け入れ施設の対応～

# 修学旅行での農業体験における 民泊とアレルギー対応

ひがしかわ子ども農村体験交流推進協議会

事務局長 中田 浩康

(有限会社アグリテック 代表取締役社長)

## 家族のようになつながら マッチングから

弊社では北海道のほぼ中央部、旭川周辺地域におけるグリーンツーリズムを通じた農山漁村の活性化や子どもたちの体験活動の場の提供を目的に、とくに農業体験において管内地域のグリーンツーリズム協議会等と連携し、10年ほど前より農業体験の受け入れをおこなっている。協議会設立の支援や、受け入れ体制の整備をはじめ、受け入れ農家の研修、道内外へのプロモーション、旅行会社や学校との調整など都市と農村をつなぐ地域コーディネート事業体として、広域な受け入れ窓口を担わせていただいている。

農業体験においては、近年、生活体験として農家の家にホームステイする農家民泊（民宿）が増えてきており、現在年間15校ほど2000名近くの受け入れをおこなっている。滞在期間は1泊2日の受け入れが多く、1農家あたりの受け入れ人数は4名程度で、200名の学校であれば単純に50軒の農家に分宿する。

滞在中子どもたちは、農家その日おこなう作業をいっしょに体験したり、民泊でしかできない経験を。滞在を終え解散するときはお世

ではなく、農家の住宅に宿泊するホームステイ型の受け入れのため、犬や猫などのペットを飼っている家庭も多い。当然、ペット情報を確認しながらおこなうのだが、生徒名簿に動物アレルギーの生徒が散在しているようなケースでは具体的に犬なのか、猫なのか動物の種類によってマッチングする。また、どうしてもマッチングがうまくいかない場合は、猫アレルギーだが屋外飼いであれば大丈夫かどうかの確認をとったり、一方でせっかくな受け入れ可能な農家もペットを飼っているがため、動物を飼っていない農家に変更をせざるを得ない状況が出てくることもある。

次に配慮すべきは植物アレルギーだ。イネ科の作物やブタクサ、花粉などによるアレルギーについては、農業体験のため完全に避けることは難しいが、該当する作物を生産していない農家で調整し農家にもその旨案内をできる。最終的には本人の判断に委ねることしかできない状況でもある。

また、アレルギーのほか農家にも受け入れにおける男女や人数の希望などもあり、その希望にもなるべく沿うようにマッチングをおこなっているため、これら複数の条件がクリアされてはじめて受け入れ名簿が完成する。

## アレルギーの程度と好き嫌い



作業体験の様子（ピーマン収穫）



料理の準備（共同調理）

を添えて案内する。とくに食物アレルギーなどについて具体的記載はしているものの、記載された情報だけでは程度が分からないこともあり、農家からはやはり不安の声が届くこともある。その場合は、当日本人に確かめることで現状は対応している。しかし中には、アレルギーと違って対応を考えたいたらただ単に嫌いなだけだったりすることもあり、ホッとする反面、好き嫌いを情報に入れられてもという思いもある。

## リスク回避を前提とした班編成？

おかげさまでこれまでアレルギーが原因での大きな事故やトラブルなどは発生してない

ものの、滞在中に事故が発生した場合は農家と事務局、および救急病院などの関係機関との間での緊急連絡体制をとった上で受け入れをおこなっている。

万が一の対応はできていくつもりだが、リスク回避という点でいえば、とくに食物アレルギーについては食品衛生管理講習の中で、牛乳・卵・小麦などといった7大アレルゲンについての研修などもおこなってはいるものの、原料を使わないことはできても、民泊の場合、家庭の調理器具を使うことから完全な除去には限度がある。その場合、アレルゲン食品除去のお弁当の手配や、程度にもよるが本人の自己判断による食事制限などによるリスク回避も必要になってくるかもしれない。

また、動物アレルギーにおいても、以前受け入れ名簿が完成し、各農家へ名簿表を案内したところペットを飼っていない農家から屋内に犬を飼いだしたという連絡を受けたことがあり、急遽受け入れ農家の変更をおこなうようになった。

近年、食生活や生活習慣の変化に伴い食物アレルギーをはじめさまざまなアレルギーのある児童・生徒が増えてきているように感じる。このような民泊の班編成は仲の良い友達同士で組むことが多いのだが、猫アレルギー同士の生徒の班などといったように、マッチングの関係上、アレルギーごとの班編成をお願いするときもあるかもしれない。

ファームステイ体験名簿表 学校向け農家民泊生徒名簿表 平成 年 月 日現在

地区	クラス	班数	班人数	性別	農家代表者名	〒	住所	電話番号	主な生産作物	ペット有無	生徒氏名				アレルギー			その他（特記すべきこと）	
											班員①	班員②	班員③	班員④	動物系	植物系	食草系		
1組	0名	1																	
		2																	
		3																	
		4																	
		5																	
		6																	
		7																	
		8																	
		9																	
		10																	
2組	0名	1																	
		2																	
		3																	
		4																	
		5																	
		6																	
		7																	
		8																	
		9																	
		10																	

生徒名をご記入ください。

動物アレルギー（猫や犬）や植物アレルギー、また身体配慮すべき生徒さんについて、ご記入ください。

<記載例>  
班員①犬（屋内×）  
班員②イネ科×  
班員③④乳製品、卵（つなぎ不可）

## 苦慮するマッチング

受け入れ農家と生徒とのマッチングは、農家の調整と合わせて学校に生徒名簿の提出依頼を同時におこなうところから始まる。生徒名簿は、表のように傷害保険加入のため生徒の氏名のほか、食物、植物、動物の3つに分類したアレルギーについて記載してもらう。アレルギーについては、「猫・屋内×」や「卵（つなぎ可、卵焼きは不可）」など具体的に報告してもらう。

生徒名簿が届くとはじめにおこなうのは、動物アレルギーの該当生徒の把握からだ。民泊は宿泊施設として完備されているゲストハウスへの宿泊